

令和3年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(公民)科目：(現代社会) 対象：(第1学年1組～5組)

科目担当者：(1組～4組：松 鈴木善隆[Ⓔ] 竹 北浦啓[Ⓔ] 梅 平出明弘[Ⓔ])(5組：松 鈴木善隆[Ⓔ] 梅 平出明弘[Ⓔ])

教科・科目の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の基本となる考え方やしぐみ、現代社会の代表的な課題について理解する。 ・良識ある社会の一員として、社会の課題を解決していこうとする態度を身に付ける。
----------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	1 公民的分野について中学校までに身に付けるべき基礎的・基本的内容の習得が不十分な生徒が多い。 2 ニュースや社会事象を知るために必要な知識や用語の意味を理解していない生徒が多い。 3 抽象的な問題についてイメージすることが難しい。 ※本校では学力検査による入試を実施していないため、年度当初の授業中の生徒観察から判断した。	1 中学校までに学習する公民の基本的事項について、授業時に確認する機会を積極的に設ける。 2 授業で扱う事象は必要最小限の分量にとどめ、基礎的知識や技能の確実な定着を図る。 3 現代社会の問題について、身近な事例を取り上げ、社会事象の思考力や課題解決能力を育成する。	1 内容を精選し、社会において必要とされる基礎的・基本的内容の習得を図る。 2 視聴覚教材を活用する等、教材を工夫し、わかりやすい授業を展開することで生徒に興味関心を持たせる。 3 授業で学んだ基礎的・基本的内容について復習を行い、定着を図る。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			